

くまもと・わくわく基金交流会
 縁-up！くまもと2019

団体名： NPO法人 ブライトパル熊本



(1) 団体の目的、活動内容



芸術及び文化活動への参加を通して、障がい者本人の生きがいや自信を創出し、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、親と子の絆、コミュニケーションを深め、障がいに対する市民の理解と認識を深めて頂くことを目的としています。

【今年度の活動】

- ・刺し子の展示会 3月
- ・刺し子の体験会 4月、5月
- ・親子いけ花 7月、12月

わくわく基金助成事業

対象：特別支援学校の生徒さんと親御さん

- ・いけ花講座 7月、10月

日本文化の行事である五節句にちなんだ花を
を生けて楽しんで頂く講座



刺し子について

名残惜しむ



刺し子 一針一針丁寧

ダウン症の米光さん 30作品 合志市で個展



20年余り刺し子作品を作り続けているダウン症の米光さん(41)は熊本市北区の個性が1日から、合志市野々島のユパレス井天で始まる。米光さんは「たくさんの人に见に来てほしい」と心待ちにしている。3日まで。

子どもの時から折り紙など細かい作業が得意だった米光さんは、中学校の授業で刺し子に出合い、熊本大付属養護学校(現在は同特別支援学校)高等部の時に本格的に制作を

開始。2001年からは作品展も開いている。

週3回、熊本市内の介護老人保健施設でヘルパーのボランティアをしているが、それ以外の時間はほぼ刺し子を制作母の球美子さん(88)は誰かに習ったわけではなく、我流。作業中は集中力が途切れることがなく、朝から寝るまでやっていることもあると話す。

藍染めの布に、ピンクやオレンジ、青など色とりどりの糸を一針一針丁寧に縫い上げた作品は、絵柄や色調が美しい。今回は花やチヨウ、幾何学模様などを縫い付けたバッグやのれんなど約30点を展示。父の聖さん(85)は「伝統的な刺し子を、多くの人に喜んでもらえたら」と語る。

13年には両親がユパレス井天近くにアトリエを開設。毎週木、金、土曜の午前10時から午後5時、米光さんの作品を見るができる。8日後を2時から、刺し子の体験会を開催。参加費500円。てん(096)277-1864。(四島宏美)

テンポ、シテイ

熊本市の放送番組村尚子委員

熊本市中あつた。白報番組「91」(4)14時50分までの美を10分間を交わし「みぎ」美容や健康話題を船リティー康に効果る豆乳をる方法なつ情報を委員がナリティボが良くなどと評一方、「を伝えて方法を試した指摘



親子いけ花の様子



（２）成果、市民の声

【親子いけ花参加者の声】

- ・引きこもりがちなので、このようなイベントがあると助かります。
- ・色々な花を教えてもらい勉強になりました。とても楽しかったです。
- ・子どもがこんなに器用だとは思いませんでした。新たな発見が出来ました。
- ・反抗期に突入していたので親子でこのようなあたたかい楽しい時間をすごせてとてもうれしかったです。

【市民の方の声】

- ・熊本の蒸し暑い日に、涼しげな花々に癒されました。
- ・親子いけ花という取組いいですね。色々な場所で企画して下さい。
素敵な作品ばかりで感激しました。
- ・花を楽しみ、バランスや色どりもよく、アイディアも素晴らしいですね。
また機会あれば拝見したいです。

(3) 支援してほしいこと

来年度も引き続き親子いけ花を開催予定です。

自信と創造力を養い、植物、人、モノへの思いやりと豊かな人間性の形成を助成し、親と子のコミュニケーションを深めることが見込めます。

また、作品の展示により、障害に対する市民の理解と認識を深め、熊本市の目指す「障がいの有無にかかわらず、誰もが能力を発揮でき、いきいきと暮らせる社会の実現」の一助となると思われます。

【支援してほしいこと】

- ・会社訪問も兼ねて、その会社の案内をしてもらいそこで花を生けて数日展示させて頂きたい。
- ・公共の人通りの多い場所に花を生けてそのまま展示できる場所の提供をお願いしたい。
- ・熊本県産の花を用いたいけ花を考えているので、花材の協賛をお願いしたい。

※ご協力頂ける団体には、チラシ、パンフレットへの掲載及びFacebook、ホームページ、インスタグラムにて、報告や御礼を掲載させていただきます。

参考 花の効果

花には、「ストレスの軽減」や「社会性の向上」、「認知機能の改善効果」等の効用



	交感神経活動 (LF/HF)	副交感神経活動(HF) (ミリ秒 msec ₂)
花なし	1. 51	828. 6
花あり	1. 13	1072. 6

交感神経活動：緊張・ストレス時に高まる。

副交感神経活動：リラックス時に高まる。

【事業所に花を飾る事での効果】

- ・花を飾ることにより、事務所内が明るくなり人間関係も快活になります。
- ・花を話題にすることで、気分転換になり、季節感が感じられます。
- ・お客様、来訪者との雑談、息抜きの会話にも役立ちます。
- ・花を飾っていると、お客さんとの会話も柔らかくなり入りやすくなる。
- ・定期的にお越しになるお客様からも、花を楽しみにしていると言われる。
- ・職員のストレス軽減効果が期待されます。